

(一社) 日本リモートセンシング学会 大学研究室紹介

日本大学生産工学部

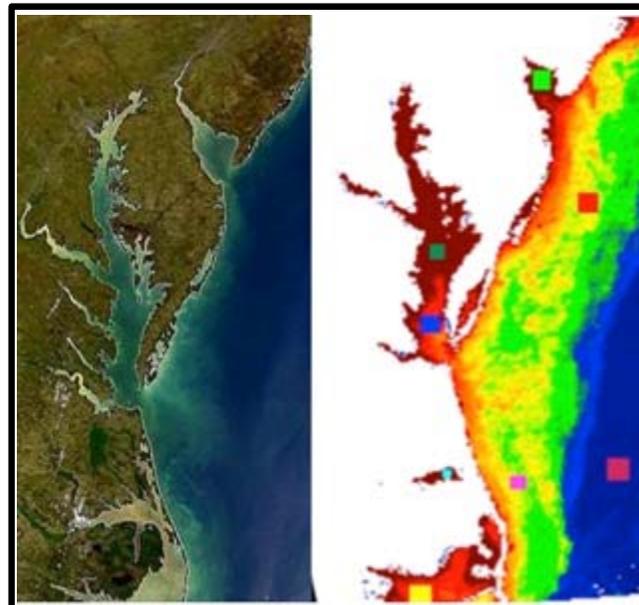
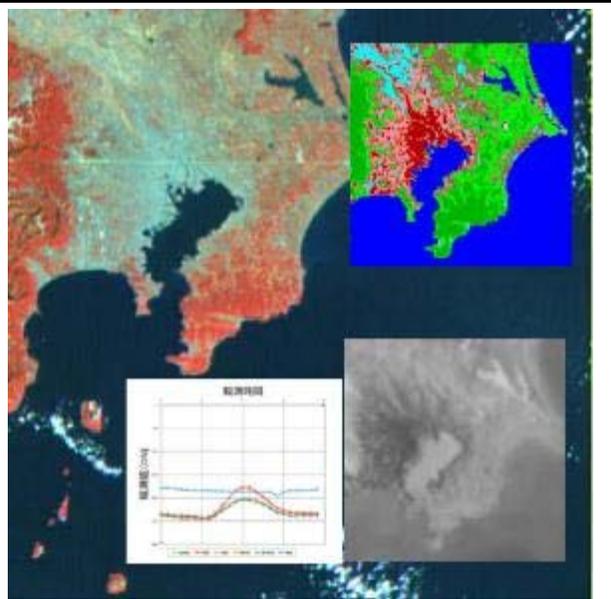
日本大学生産工学部では、「土木工学科」と「環境安全工学科」に所属する教員の研究室において、陸域（熱環境など）水域（水質環境など）、地形（地盤変動など）ならびに防災（地域の防災計画など）に関するリモートセンシングの研究を行っています。



- 研究室HP : <http://www.cit-nu.com/civil/rsru/>
- 所在地 : 〒275-8575 千葉県習志野市泉町 1-2-1
- 研究室の教員 :
 - 土木工学科 教授 杉村俊郎 (sugimura.toshirou@nihon-u.ac.jp)
 - 土木工学科 専任講師 青山定敬 (aoyama.sadayoshi@nihon-u.ac.jp)
 - 土木工学科 専任講師 朝香智仁 (asaka.tomohito@nihon-u.ac.jp)
 - 環境安全工学科 教授 岩下圭之 (iwashita.keishi@nihon-u.ac.jp)
 - 環境安全工学科 助教 野中崇志 (nonaka.takashi@nihon-u.ac.jp)

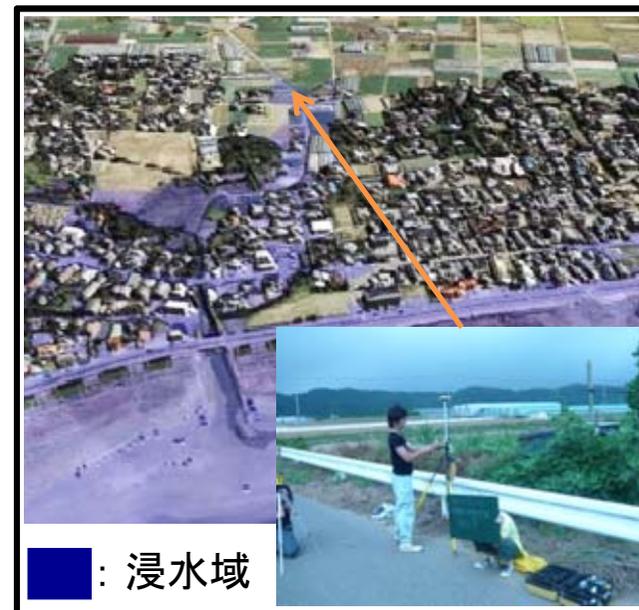
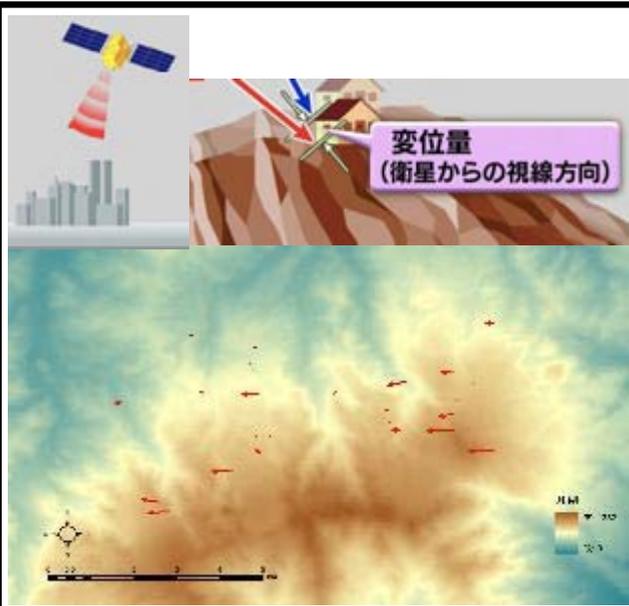
宇宙から「観る」楽しめと地上で「検証する」楽しめを学べる研究室

- 新しくなった「ひまわり8号」が観測した画像は、気象分野以外にもたくさんの分野で利用が期待されています。



- 世界的に大都市圏では拡散的な市街化の形成の弊害として、周辺沿岸域、河川、湖沼の汚濁が報告されています。米国環境庁EPA、海外諸大学との共同研究で「閉鎖性水域の環境評価」を積極的に行っています。

- マイクロ波と呼ばれる波長の電磁波で観測を行い、センサの性能評価や地形や地表面変動量の推定を行っています。



- 地震による津波浸水域をシミュレーションして、現地調査によってその妥当性を確認する研究をしました。防災計画を考える上で、役に立っています。

高校生へ：研究室訪問や模擬授業は随時受け付けています。詳細はEメールにてお問い合わせ下さい。